

## 平成21年度第1回徳島県西部地域政策総合会議概要

- 1 開催日時  
平成21年7月31日(金)午前10時から午後12時まで
  - 2 開催場所  
西部総合県民局 美馬庁舎2階 大会議室
  - 3 出席者
    - (1) 会議委員  
地域住民代表委員  
阿佐委員 井上委員 井下委員 岡田委員 河野委員 佐々木委員  
谷委員 田淵委員 西委員 新田委員 浜口委員 藤本委員  
古井委員 元木委員 山下委員  
計画推進評価部会  
石田部会長  
県委員  
市川西部総合県民局長
    - (2) 管内市町長  
牧田美馬市長 俵三好市長 兼西つるぎ町長 川原東みよし町長
    - (3) 県関係  
飯泉知事 安宅西部総合県民局副局長 久次米西部総合県民局次長  
西部総合県民局各部長 ほか
  - 4 会議次第
    - (1) 開会
    - (2) 飯泉知事挨拶
    - (3) 議事  
議題  
徳島県西部圏域振興計画の進捗状況について  
徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会報告について  
徳島県西部圏域振興計画の平成21年度事業計画について
- 配付資料
- 平成21年度第1回徳島県西部地域政策総合会議会議次第
  - 資料1 徳島県西部地域政策総合会議委員名簿
  - 資料2 平成21年度徳島県西部地域政策総合会議配席図
  - 資料3 「徳島県西部圏域振興計画」数値目標平成20年度進捗状況  
表紙及び一覧表
  - 資料4 平成20年度重点項目別評価について
  - 資料5 「徳島県西部圏域振興計画」平成20年度進捗状況
  - 資料6 徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会報告
  - 資料7 「徳島県西部圏域振興計画」平成21年度事業計画
  - 資料8 平成20年度第2回徳島県西部地域政策総合会議概要
  - 資料9 徳島県西部地域政策総合会議設置要綱

## 平成21年度第1回目徳島県西部地域政策総合会議の議事概要

(発言者)

(安宅副局長)

ただ今から、平成21年度第1回徳島県西部地域政策総合会議を開催します。私は本日の会議の進行役を努めさせていただきます、西部総合県民局副局長の安宅恒夫でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、まず、飯泉知事から皆様方にごあいさつ申し上げます。

(飯泉知事)

あいさつ

(安宅副局長)

本日の会議ですが、徳島県西部地域政策総合会議設置要綱第5条の規定によりまして会議は西部総合県民局長が会議の議長をすることになっておりますので、以後の議事は市川局長が行います。市川局長よろしくお願ひします。

(議長)

西部総合県局長の市川と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。委員の皆様方には御多用のところお集まりいただき、今日は全員御出席ということで、本当にありがとうございます。

本日は、平成19年度に策定をいたしました、キラリいきいきにぎわいロマン、徳島県西部圏域振興計画の平成20年度の進捗状況並びに21年度の計画につきまして、御説明をさせていただきたい、その際、進捗状況につきましては、石田部会長様からの御報告をいただくこととなっております。計画3年目となります本年度の取り組みをはじめ、圏域振興につきまして、忌憚のない御意見をお伺いできたらと思っております。

また、本日の議事の内容につきましては、お名前を除きまして、後日、県のホームページで公開をいたすこととしておりますので、御了承を賜りたいと存じます。

なお、これ以降の進行につきましては、座って進めさせていただきます。

それでは議事に先立ちまして、事務局から配付資料の確認をお願いしたいと思います。

(事務局)

配布資料の確認 資料1～資料9

(議長)

それでは、議事に入らせていただきたいと思います。本日の議題の1番目、徳島県西部圏域振興計画の平成20年度進捗状況について事務局の方から御説明させていただきます。

(事務局)

資料3、4、5の説明

(議長)

続きまして、議題 の計画推進評価部会の評価結果報告につきまして、石田部会長からよろしくお願ひします。

(計画推進評価部会長)

資料6に基づき評価部会審議結果の報告

(議長)

ありがとうございました。皆様からの御意見につきましては、次の議題を説明させて

いただいた後にまとめていただきたいと存じます。

それでは、議題の西部圏域振興計画の平成21年度計画について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

#### 資料7の説明

(議長)

それでは、ただ今から西部圏域振興計画の進捗状況、あるいは平成21年度計画につきまして御意見、御質問などをお伺いしたいと思います。圏域振興全般についても結構でございますので御質問、御意見をお願いしたいと存じます。

なお、時間のことですが、午前11時45分を目途に御意見をお伺いできたらと考えていますのでよろしくをお願いします。

どなたからでもよろしくをお願いします。特に御発言がないようなので、毎回恒例という訳ではありませんが、委員さんから順番に御発言をお願いします

(委員)

おはようございます。暑中お見舞い申し上げます。私はNPO法人もっともっと井川の一会員でありますと共に、一主婦ですので、その立場から。

メイト文化村という腕山の東の方にある、三好市の持ち物であります、とてもよい施設がございます。この春先に、NPOフォーラムインみよしというのがございまして、その時に4つある分科会の一つの分科会に参加しました時、東祖谷のアレックス・カーさんの屋敷をみたり、落合集落を川の向こう側から案内して見せてもらったりして、そこでお昼のおもてなしをいただいたのが、祖谷のジャガイモをおろしたでんぷんで(作った)まずアメ湯をいただいて、コミュニティーや女性軍達がとても心こめたもてなしを作って、入れてくださいました。

大枝にある喜多屋敷でお昼をいただいた後、座談会になりまして、海部、南の方のボランティアをなさっている三好の方の御出身の年配のおじいちゃんとか、いろいろな方がいらしたんですが、そこで印象に残った話は、海部の方でボランティアをなさっているおじいちゃんが、まず、「求めたらあかんよ、ボランティアをしている人は」と。自己満足ではあるけど、「やってあげている」とか「こんなに苦労しているのに」という風なことを「口に出しては、云ってはいけません」、「腹の底に納めて、こつこつとやりなさい」ということを云われた時、私に、本当に一番足りない、ぐちばかり云う私には、一番きつい言葉だなと思いました。

それからは心を入れ替えまして、考え方も少し前向きに考えられるようになり、前の、この会議でも、働き手がないといったことを口にしましたこと、とても反省しています。前向きに、ひとりでもこつこつとやる、ということが最大の条件ではないかなと肝に銘じております。

そのコミュニティー祖谷の婦人達に触発された思いで、背中合わせでいる、ボランティアしている、腕山の向こう側にはそういう人達がいる、私は井川で一人で何かやっているということがとても寂しかったんですが、それぞれの地域でいろんな形で頑張っている人達がいると思いましたが、それが点じゃなくて線に見えてきて、これは交流をする必要があるなと思ひまして、これは彼女たちが活動している東祖谷の名頃に行き、案山子づくりにも参加し、案山子づくりのグループの人達とも交流ができました。そういうふうに他のグループの人と交流するというのが、私自身にもすごく影響があり、力をいただきました。

6月に「平家落人伝説を語る会」をメイトでやってみようかと、井川の井内には地福寺さんというお寺さんがあり、今は見越の円福寺さんのお仕事もなさっている地福寺の御住職から、私の活動について前々から「何処へでも行って話したげるでよ」という協力者なものですから、無報酬で講演をしていただけませんかとお願ひしましたら、その方

が「メイトでやらんで」と云ってくださり、そこで口コミだけで募りましたら、お陰様で34名の方が来ていただいて、今日この席にも来ていただいた方が何名もいらっしゃり、とても励みになり有難く思いました。

私がメイトでやっていくというのは、メイトの下の集落が、限界集落とか高齢化とかいわれますが、地元のおじいちゃんやおばあちゃんに元気なってもらいたいという前々からの思いがありましたので、その人達がメイトの施設を借りることで、何か体験を通して、他町村から来てくださる方と交流もできたり、少々でも有償のものが、五百円でも千円の収入にでもつながるような、これはとても先の話ですが、そういったことにつながらないかという前々からの思いがありました。人が来てくださることで、こちらがおもてなしをすることで、その間に何か農産物であるとか、手作りしたものであるとか、体験をとおしての講師料であるとか、地元の人達に還元できないかなと思っております。様々な思いがありますが、頑張りたいと思います。

(議長)

貴重な御報告ありがとうございました。ボランティアの心、それから連携、事業展開についてお話をいただきました。我々としてもできることを対応してまいります。

(委員)

前回は障害者の方々が安心して暮らすために必要なこととして様々なことを申し上げましたが、その中で経済特区なんですけど、生活を支えているお金ということの中で、やはり年金収入だけでは暮らすことは難しいです。年金も、途中障害などが多くて、受給権の無い方が多いので、働いて稼ぎたいという気持ちは一般の健常者の方に負けず、非常に強いと思っております。そういう状況の中で就労するという事は難しいです。

私共の施設では毎日働きに来てくださっている利用者の方の工賃をどのようにして上げたいだろうか、十円でも百円でも上げる、という努力をしております。

県の方で、官公庁の需要で、福祉施設からの購入を優先して買ってくださいという方針を出されておまして、非常に有難いと思っております。ただ、この制度のなかで、官公庁の方がどのような物品が必要なのかということと、現場で何を作れるんだろうかということと、そのマッチングがうまく、まだ初めなんですけど、これからはきめ細やかさを加えていただいて、御指導をお願いできたらと思います。

最近、近隣の地場産業とかニュービジネスの社長さんとお話をした中で、障害者の雇用とか、仕事の発注に御理解をいただくことができまして、今、耕作放棄地の再生利用とかを含めまして、障害者が地域を活性化するための一翼、ただ、いただくだけじゃなくて、障害者の方も何かできて、地域を盛り上げることができないだろうかというようなお話を今しつつありまして、まだ、水面下でやっているんですが、そういうことが軌道に乗りますように、県の方としても御支援をお願いできたらと思います。

(議長)

ありがとうございました。マッチングのお話と耕作放棄地の活用を含めた御提案だと思います。「西部の福祉の明日を考える会」を立ち上げたばかりなので、そういったところで具体的なことをお話しさせていただけたらと思います。

(委員)

今回の資料をみて、振興計画の約60%が目標値を達成しているとのことで、とても素晴らしく、うれしいことだと思います。

私の意見は、些細なことなんですけど、資料の中に観光交流の推進、景観形成とおもてなし意識の向上という項目があります。その中に観光案内人養成講座が開催されているということがありますが、観光地というか、場所というか、集落みたいな小さな単位でそういうことを開催して欲しいと思います。というのは、脇町や東祖谷の重伝建とか何々家住宅では、そこで実際に人が生活しております。そこで、今まで山の上なので、家

に鍵を掛けることもなく、外出することが当たり前で生活してたのに、ある日突然、外から帰ってみると、知らない人が家の中から出てきたり、泥棒かなと思ったら観光客だったと。全然、そういう意識がないままに、家の中を見せてくれとか、当然、観光客ならまだよいところもあるのですが、観光で来た人は、そういうものが見えると、当然のごとくに思ってくると思うんですよ。そういうところで、特に、いなかの高齢化とか、一人暮らしの人とかが住んでますので、これはもうだんだん（問題が）大きくなったりしてます。

そこで意識改革というか、こういう風な対策をして、この部分は自分のプライバシーのところだから、きちり区別ができるようにとか、こういう事をしたらどうですかというような講演、提案、お互いの話し合いとか、そういう場があったら、案内人のスキルアップとかももちろん大切と思うんですが、地域に住んでいる人、小さな場所での開催を是非お願いしたいと思います。

（議長）

ありがとうございました。観光は、見る側だけでなく、見られる側の視点も大切にといいお話です。

（委員）

20年度の目標は、ほとんど達成とか順調で、一部子育て支援に があったように思うんですが、順調にいらっているように思うんです。

私たちの身の回りといいますか、生活してる視点で周りをみたら、50歳過ぎくらいの方が、大工さんとか結構多い地域で、仕事なくて、遊んでいる人が何人もいらっしやるし、また、教育のことに関しても、子供が、私の小学校区域では子供が10名なんです、先生は5人おいでるんです。それがいいのかわるいのか、ちょっとそこらへんが分からないですけど、小学生はそういう状態だし、中学生はスクールバスで行ってるんですけど。いろいろ、ひとつひとつ考えた時に、小学生は小学生だけ、中学生はスクールバスも中学生の授業に合わせて、小学生が、私の孫は山城小学校に行ってるんですけど、バスが12時にでるのに、授業が12時に終わったらバスにちょっと10分くらい間に合わないから、迎えに行かないといけないとか、また、お年寄りの方も、今、山間部の農家は、70歳代とか80歳代ぐらいの人が畑とか地域を守ってる訳で、その人達が病院に行くにもバス停留所まで歩くと遠くて、タクシーで行ったりとかしてるから、ひとつひとつでなくて、スクールバスも朝晩は中学生が乗ってるけど、昼間は誰も乗らないで走っていることが多いんですよ。

ですから、山の上も最近道路が抜けて、舗装が全部出来てますから、ちょっとバスを小さくしてもらって、これは市の方へもお願いなんですけど、朝晩は子供の通学に使って、昼間は病院へ行くお年寄りを運んであげたりとか、そういうことができて、地域の本当にわずかな人数ですから、みんなが利用できるような、そういう、ひとつひとつ別々でなくて、一つに考えて、地域のことを21年度の計画に、そういうことが盛り込まれたらいいなと思います。

（議長）

ありがとうございました。小回りのきく施策と対応ということですのですぐにお応えできるか分かりませんが、そういう点を大切にしたいと思います。

（委員）

市長さんの選挙の時に、もはや、アメリカの時代ではないと、東京の時代でもない、いよいよ四国の徳島の美馬市の時代がはじまると云いましたら、皆、くすくす笑った人と、これはもう勢いづいたという人の二つに分かれたんですけども、その理由からいきますと、経済発展というのが地球の規模に対してもう限界がきまして、四国の時代というのは御存知のように四国は八十八箇所がありまして、そのお接待の心というのは、こ

ういう優しさというんですか、最近、有徳というか徳がなかったらいかんと、四国の中で徳があるのは徳島だけですよ、その中で美しい所というのは美馬三好ということなんで、いよいよ県西部の時代がはじまるんじゃないかと、最近、私、確信を持って、今はあちこちに言いまくりよるんです。

先般、日本経済新聞社の支局長さんが取材に来られまして、お話しするときに、一番に云うたのは、「お接待の心」と云うたんですね。これは、私、じいさんばあさんから、とにかく、どなたさんが来てお茶とお菓子を出せと、これを今も続けている。私は、すぐに3分以内にお茶を出せと、時間が何時だろうが、お客さんがもういらんというてもすぐ出せと、昼がきたらとにかく何でもええけんご飯をすぐ出せということ徹底してるんですけど、そういう話を少ししたんです。

私は、以前から「全家庭にガーデニング農業を」ということを云っている。全ての人が大根や野菜を作るところや、小動物を飼ったり、花を植えるところがあったら、もっと豊かな地域になるし、人間関係もできるし、いざという時に、思い詰めでもいいということで、最近、それがいろんなところでできまして、作家の曾野綾子さんが、あの東京のど真ん中で6ヶ月は自分で野菜を作って、6ヶ月分それでいけるということを発表されていまして。

その話をしましたあとで、日経の7月20日のインタビュー「領空侵犯」に国立西洋美術館の館長の青柳正規氏はですね、「大規模農業を目指すな」という記事が出ておまして、それを見て私うれしかったんです、私の思いと同じことだったということですね。日本農業は環境に優しいと。

その内容については、また、そっちの方をみていただいたらいいと思うんですけど、この美馬三好の西部圏域で、大規模農業ができるようなところは本当はないんですよ。世界中の先生方や、市町村長さんとお話しても。これは、なかなか関東平野のような一部の北海道のようなそんな大規模農業が展開できる場所というのは、限られたところですね。そういうことからいいますと、この西部圏域の農業というのを多品種、小規模生産、それで地産地消を第一目標にした展開の中で、日本のモデルというんですか、そういうことが私は、可能でないかという思いをしてるんです。

本当に西部圏域は素晴らしい地域だと思んですけど、少々おこづかいを稼ぐ方法を考えていかないかと。なかなか時間当たりの収入というのは、そんなに高くはとれませんので、実は、私の会社も明日朝6時から社員大会を開くんです。そこで私が1時間半話をするんですが、なぜ6時からするかというと、全員を集めるのは8時がきたらいろいろ仕事がありますんで、8時までには終わらないとしょうがない。まあ、一日するんですけど、全員に私の思いを伝えようと思ひまして。

今、一人だけ定年を120歳に延長したんです。とにかく、高給とっても50や60歳でやめたんではしれとるじゃないかと。120歳までいったら60歳からでも60年いけるんで、少々稼ぎが少なくても、一生涯死ぬまで楽しく働ける場というか、理想的には西部圏域、徳島県、四国となるんですが、自分のできる範囲からでも、とにかく始めていこうと、我々のところから大きな事をいわずに始めて、スタートしたいと思ひます。

今日は突然飴を持ってきて失礼したかも分かりませんが、とにかく、人様が来たら、おじいさんおばあさんから、何でもあるものをみやげにしなさいという教えをいただいたものですから、御理解いただけたら有難いです。

(議長)

貴重な御提案をありがとうございました。せひまたその行く末を皆様に教えていただけたらと思ひます。

(委員)

先日行われました、美馬市観光協会の理事会ならびに総会に出た意見を少し述べさせていただきます。

市長、河野メリクロン社長の絶大な御協力で、美馬市のいろんなイベントが盛んにな

ってきておるわけですけど、うだつの町並みでゴールデンウィーク4月29日から5月6日までで、1万766人、一日平均1345人、それから同じ期間で12日から15日までで、7464人、一日平均1868人という風に相当増えてきておるんですけど、道の駅の駐車場がそのわりに対して非常に狭いと。

ガードマンを雇って整理をしているんですが、なかなか追いつかない状況みたいですよ。できたら何とか拡張をしていただきたいなど。せっかく、さきほど知事さんもおっしゃったように、西部の玄関口でもございますので、その点をよろしく願いをいたしたいということでそれが一点です。

もう一点は、今、インターチェンジを下りたところに案内板を出してくれているんですが、できたら、そこに差し替えのできるような、イベントの案内ができるような看板を設置してくれないだろうか。そしたら、インタチェンジを降りたときには、こういうふうなイベントがあるんだなということで、それを時期々々に差し替えることができるような形にしてほしいということでございます。

それからもう一つでたのは、美馬市の「あおいろ紀行」というパンフレットができていますけど、それは市の関係の先の宿泊とか温泉だけを入れて、民間が入っていないでないか、民間不遇でないかというお話があってそれに対して、県のほうがどういう風な対応をされるのかなということが一点でございます。

それからもうひとつは、これはあまり直接関係ないんですけど、藍住のインターを出たところで、四国中央市に行くにはどうしたらよいかとナビゲーションを入れたら、推奨コースは、板野インターを入れて高松道を通って行けとでる。実際は、徳島道を通って行ったら早いのに、それが推奨コースになっていると。それはカーナビ会社と県の方で訂正というんですかね、してもらえるのならということですよ。以上です。

(議長)

ありがとうございます。具体的な提案をいただきましたので、ちょっと地元の市長さんとも相談させていただきまして、対応させていただきたいと思っております。

(委員)

阿波池田商工会議所の ですよ。よろしくお願いいたします。

先日私も開催いたしました、酒祭り意見交換会は、三好市や西部総合県民局の皆様がお忙しい中来ていただきまして、貴重な意見をいただきましたことを御礼申し上げます。

また、にし阿波観光圏のイベントで湯めぐり蔵めぐりでしたっけ？そういうイベントにも加わっていただきましたことによりまして、また、高速道路の割引もありましたので、酒祭りの入場者数も倍増してきております。重ねて御礼申し上げます。

今日、西部地域政策総合計画と言うことで説明を聞いておりまして、達成若しくは順調ということが合計80%以上ということで、今日、ここに来る前にテレビを見ておりましたら、お互いの党と党がお互いのマニフェストの検証で、50%いや20%もできていないという話があるんですが、こちらの方では推進評価部会というのをきちんと設けられておりまして、そこで認められた80%以上というのはもう確かなものであるし、県の方の努力をストレートに感じております。ですが、残りの20%の中で目を通しておりますと、子育て支援というのがありまして、三つの三角マークがあったように思うんですが、やはり党のマニフェストでも、高校の授業料をタダにするとか、保育料をタダにするとか、そういう、可能かどうかというところも、争点として注目されると思うんですが、やはり子育てということに関しまして、なかなか難しいと思うんですが、設置の問題、サポートの問題、責任の所在も含めてこれからも努力を続けていただきたいと思っております。

また、前回も述べましたが、三好病院の産科の問題で、前回、診察は続けているとい

うことでお伺いしまして、私も確認したんですが、やはりお産は半田病院だけということで、知っている方に聞きますと、臨月、予定日が近づくととても不安であると。まだ陣痛も来ていない状態で、早めに入院をお願いして入院する。それでも陣痛が来ないので、入院費もかさむので、また退院したというお話もありまして、医師不足というのは徳島県の西部だけでなく、全国的な問題で、とても厳しい状態であるということは分かった上で、また受ける側の人間も努力をする、工夫をするということも考えた上で、また引き続き努力ご理解いただけたらと思います。

話は変わるんですが、商工会議所では、近年、中心市街地活性化についてずっと取り組んでおりまして、この地域政策会議の中にも、三好市の方からも連携して取り組んでいるという力強いことをいただいておりますが、なかなか進んでいないのが現状で、私どもとしましては池田、三好市に来られる方に気持ちよく買い物をしていただける環境づくり、また安心安全な街づくりをこれからも提案していきたいと思っています。

それで、新しく、中小商業活力向上事業というのもございまして、そういう施策もこれから考えながら、前向きに取り組んでいきたいと思っておりますので、県におかれましてもバックアップ、サポートをよろしくお願いしたいと思います。以上です。

(議長)

ありがとうございました。子育て支援の方は、はぐくみプランが、今、県の方で見直しをされて、後期計画について、市町と御相談しながら、今後、いろいろお話しさせていただくことになろうかと思っております。

医療の問題は難しいということですが、今、それぞれの立場でそれぞれが努力していくということじゃないかなと思います。

活性化の話は、事業についてお手伝いできることがあれば、お手伝いさせていただきたい。

(委員)

おはようございます。冒頭の知事のお話の中で県西部は観光圏に選ばれたと言うことで大変喜ばしいことだと私も思っております。これも高速料金の新体系のおかげではないかなと思っておりますので、ぜひとも継続して続けていただきたいというのもあるんですが、観光客が、個人の観光客が増えている状態だと思うんですが、良からぬ人も増えているのではないかと。

私、実感することが、3ヶ月ほど前に車上荒らしにあいまして、車のガラスを割られて中の物を取られたということが起きました。これが県外の人かどうかは、犯人が捕まらないので分からないんですけども。周りの人と話していたら、そういう人もいるという話を実際聞いておりますので、ここに、防災の話はあるんですけども、防犯の話も加えていただけたらいいのではないかと、というふうに感じております。

ひとつの提案といたしまして、私のとこの近くに、脇町の道の駅というのがあるんですけど、どうしても前を植物が、道から中が見えないように、遮っているような造りになっているんです。私、建築の仕事をしておりますけども、防犯的に、塀とかでも視線を遮るような作り方はしないんです。どうしても、中で何が起こるか分からない状態になっているのは、どうかな、と思っております。県下の施設に視線を遮るような造りになっているのは改善していったらいいのではないかな、というふうに感じております。

そして、話は変わるんですけど、私、今年度からPTAの会長を拝命いたしております。小学校のPTAの会長なんですけれども、施設の耐震の方は県下全域、今、すごい数で発注されておまして、耐震のほうは、今、ずいぶん進んでいると思うんですけど、小さいところに目を向けると、プールの子供達が、夏休みに使うプールのトイレが、私の学校、担当してる学校だけかもしれないんですけど、男女兼用でポットトイレらしいんです。子供達が非常に使いにくいという話を聞いております。子供達の体力向上とか夏休みのひとつの楽しみというのを是非くんでいただきまして、トイレの方の向上、改善もできたらお願いしたいな、というふうに考えております。簡単ですが以上で

ございます。

(議長)

ありがとうございました。時間の関係もありますので先に進めさせていただきます。

(委員)

今日、出席させていただいたわけですが、今の実感といたしまして百年に一度の不況、そしてまた政治がゴタゴタして、本当にどうなるんだろうと思うところですが、今日はこの振興計画を見せていただいたら、6割近いのが二重丸ということで、いろんな政策が順調に進んでいるわけですが、頑張っている皆さん方、敬意を表しますとともに、私どもも頑張っていかなければならない、と思っているところです。

森林林業関係につきましては、評価部会長からお話があったわけですが、やはり、間伐等が順調に順調に伸びてる訳ですが、木材が売れないということで大変、林家の皆様にご迷惑をかけており、搬出間伐が非常にできにくい状況になっているわけですが、

この振興計画がどうなるもんでもないわけですが、やはり住宅着工数が順調に伸びまして、それでまた公共事業も順調に伸び、合板とかいろいろ使用できれば、自ずと木材の需要が増えて参りますので、それに対する私ども林業関係者もいろんな施策で対応していかなければならないと思っておりますので、やはり、知事さんにおきましても、県におきましても、林業飛躍局という重要なポストを(設置)されて、いろんな投資をしていただいて、頑張っておられますので、特に住友プレスさんに出してあるB材の合板が、当初は三月から出荷停止になっているわけですが、七月が来たら売れるだろうかと言っていたら、また十月ぐらいに延びるぞというようなことになっておりますので、そのB材の値段が、製材業者さん等の値段に響いてまいり、それが木材価格ということになりますので、知事さんの前でお会いするたびに言っているのですが、早く、B材なり木材が、順調に売れるような努力もお願いいたしますとともに、私どもも、事業の実施につきましては、それらが順調にいきますと、作業に、また、高性能機械等につきましても導入をさせていただき、この実績が上がるようにしたいと思っておりますので、よろしく願いをいたしたいと思っております。

それと、木材が売れなければ、林家の皆様にご迷惑をかけますし、私ども組合の内容につきましては、地球温暖化とか、CO<sub>2</sub>の問題で、森林整備の事業もどんどんありまして、県におきましても、通常の一、二割増しの予算を組んでいただいておりますし、また、先般、基金事業と言うことで、四十数億、県の方でも予算を組んでいただきまして、私ども美馬、三好も三年間で十二億という予算が来ておりますので、一年間三億から四億ぐらいで、これは森林整備から、製材業者さん、椎茸業者さんの仕事ができるわけですが、それらも一生懸命頑張っておりますので、特にこの基金事業につきましては、私ども心配しているのが、分かりませんが、ある政党になったら、これがなしになったら困る、という考え方の人もいらしてございまして、三年計画を八月の中旬くらいまでにずらそうではないかと、今、作業をしておりますので、それらにつきましても、どの政党になっても、やはり、この知事さんがくれた四十数億の基金事業につきましても、三年間はやるぞ、という決意を持って取り組んでいただければ、私ども、本当にありがたいなと思っておりますので、この振興計画にはございせんけれども、よろしく願い申し上げます、私の発言とさせていただきます。

(議長)

ありがとうございました。基金事業は継続されますよ、当然、予算が準備されているので大丈夫ですよ。

(委員)

東みよし町文化協会の と申します。お世話になっております。

2、3 我が町のこととお願いやらご報告させていただきたいと思っております。私どもの町に法市という集落があります。非常に人数も少なく若者がいない町なんですけども、そこに農村舞台、珍しく船底の農村舞台がございます。それが発見されてから、非常に町民、農民、生き生きしまして、保存会というのを立ち上げております。

私は、ずっと前に文楽の公演を大阪で見たことがございます。そのときにこういうのをわざわざ大阪まで来なくても、我が町で見れたらお年寄りがどんなに喜ぶだろうなと思っていましたところ、この度、三好市に吉田勸緑さんというすばらしい方もいらっしゃいます。そう思って、こんな田舎に来てくれるのかなと思ってたら、どうも県下を、公演していただくことが決まったようで、喜んでおります。

法市へも10月の第2日曜においでしてくれるようになったと聞いております。非常にアクセスも良く、山なんですけど、道路が広く抜いてありまして駐車場の心配はございません。道へ駐められるんです。皆様おいいただきましたら保存会のみなさんも本当におもてなしの心を持って、喜んで歓迎すると思っておりますので、どうぞ第2日曜日、文楽なんですけど、たぶん県の方のご協力も頂くとお思います。ですからどうぞお越し願えたらと思っております。

それと、この間、特産品研究会とか生活改善、また、ふれあい市という会がございまして、その時にスタンプラリーをするような計画を聞きました。やはりお年寄りが産直市とかふれあい市、オアシスのことなんですけど、自分のところで作った品物を持ってきて、お年寄りが販売しているんですけど、やっぱりみなさんとの交流を楽しみにしてまして、顔が見えて交流する、その楽しさがあるってということで、安心・安全な物を作って提供しなくてはいけないと、非常に励みになっております。

ついでに、オアシスのことなんですけれども、オアシスもやはり情報発信の拠点になっておりまして、阿波踊り公演をやっております。やはり、それは県にもご協力いただいておりますけど、これも交流人口が増える一つでございます。どうか引き続きご支援をお願いしたいと思っております。

また、県のご協力を頂きました増川笑楽耕なんですけれども、廃校の学校を利用して、増川小学校は小は笑、学は楽、校は耕という形でしております。ここは非常にアクセスが悪いんです。非常に行く道が狭い、ということもございまして、今後、その辺りの改善をお願いしたい。そこも高齢化が進んでおりますので、今後、どういうふうにして続けられるか、私どもの問題、町の問題、地区も含めた問題がございまして、どうか未永くご支援をお願いしたいと思っております。以上です。

(議長)

ありがとうございます。浄瑠璃100公演の一環の中に入っていたと思っておりますので我々も宣伝したいと思っております。スタンプラリーも我々一緒になってやる企画でございますので、よろしくお願ひします。

(委員)

私は、毎日、徳島市内とずっと半田の方とを行ったり来たりを、仕事柄やっているんですけども、やっぱり県内の地域間格差といいますか、そういうのがなかなか広がっているような気がするんです。人口の減り方、割合についての減り方、会社の減り方、町は減りました。それから学校も減って、給料も減ってます。

ですから減りっぱなしで、増えるのは僕の運動不足で体重ばかり増えているという感じですけども。そんな感じですから引き続きこういう施策をもちまして、県内の地域間格差解消のためにご尽力を頂きたいというふうに思っています。

そうしないと、地力のある人は出て行ってしまわないかとかつくづく思います。格差のない田舎、人口が少ないから、小さい町だからできる施策っていうものがあると思うんです。そういうのに特化して魅力を出さないと、どんどん人が減るんじゃないかという気がしていますので、是非、ご尽力を頂きたいと思うんですけど。

今日は、時間もありませんので、先日、評価委員会の方でご説明申し上げた『理想的な子育て支援の良好な環境の町というアンケート結果』が新聞に載ってましたので、少しご報告したいと思います。

これはNPO法人が発表したデータですけれども、なんと第1位が宮崎市、田舎の方なんですけど。1位、2位、3位発表されてます。2位は高松市、お隣の町です。3位は長野市のように。

この1位の子育て支援、理想的な町だなと評価された理由は、1番に世代間交流活動が非常に良く出来ている、それで住民参加が多くて、これが要するにお年寄りとか近所の人がいっぱい面倒を見てくれる町にしようという努力されているんです。これが理想的な子育て環境だと評価されている。

それと保育園の待機児童が0であると、それが非常に重要な、都会は特に待機児童がたくさんいるんでしょうかね。田舎の場合はちょっと人を募集しているようなところがあるのではないかと。

もう一つ重要なのは延長保育、それから休日保育、この実施校が相当充実している。仕事を選ばずにどんどん業者に行きたくもんですから、日曜日も見たいとか、そういうふうな要望が徐々に増えている。そういう切り口で若い人を定着させるという方法もあるんじゃないかと思ったりするんですけど。

それから2位の高松市。もちろんそういう条件を加味してと思うんですが、プラスアルファで、市が支援するリサイクル。新しい子供が生まれます。そしたらいらなくなった、子育てが終わった親御さんから、町の人に、商品、幼児の器具をリサイクルしている。リチャイクルと呼んでいるんですけど、これが非常に好評である、ということのようです。

それから、次、3番目はですね、長野市。これは、していただくと、ありがたいな、と思うんですけど、仕事と子育ての両立支援、ということで中小企業向けの奨励金というのを設けているようです。これはおそらく、市とか県が支援しているのかな、と思うんですが、小さい町だからできる。おそらく、総体的な金額というのは、われわれの町全部やっても、たいしたことがない、といったら怒られますけど、そんな気がするんです。この辺を参考にされたいかかなと思います。

うちの末娘が、今、3歳でして、この前パンパースを買いにいったんですよ。私も、おばあさんとかから、子供のおしめとかそんなのは、「買うもんでないんでよ」、「男がするもんでないんでよ」と育ったんですけども。いよいよ必要にせまられて、子供のおむつを買いに行ったら、見つかりまして、友達に、「おまえそんな物買うてるんか」というようなことで、ちょっと揶揄されたんですけど、家内のお母さん連中には非常にそれがうけまして、あの人見直したと。そういう時代のようなので。やっぱり子供を大事にするとか、子供のためならなんでもやるんだ、というような感覚をですね、我々、持っていないかなと。そういうような話題で、今日は。以上でございます。

(議長)

ありがとうございました。ベンチマークは大事だと思いますので、是非それを活用していただきたいと思っています。

(委員)

美馬市から参りました　　といます。

私、前回荒廃地の事をお願いしたと思うんです。今回も自分ながら考えてみたら、やはり、中間山地だから、その辺に、荒廃地に、何かをということで山菜、ですね。ワラビだとか山ブキ、ああいうものを栽培してみてもどうかと思うんです。というのは、スーパーに売られている物は水ブキばかりやけんね、っていうお客さん。

私も、ちょっとした日曜市に少し品物を出す程度の農業をやっていますので。そうすると、そういうふうな意見を頂きました。

私は、少しみかん園の下に、みかん園という程の物ではないんですけど、私が植えて

いる、3畝くらいのみかん園、5、6本植えてますけども。その下に山ブキを植えているんですね。そうしたら、それが早くから育ち始める。それを少しあて出していきます。この香りの良い、これが良いのよ、ということで。荒廃地でこういうのをしたらどうかと。

山分の人に聞きますと、山分では、田んぼをワラビに代えたということで、ずっと綺麗なワラビを出して来ていただいています。

ああいうふうな地産というか産物作りというか、美馬市の山だったらいいのかな、と思うようになりましたので、少し、来年ぐらい、私も、荒廃地をたくさん持っておりますので、少しでもしていききたいな、と思っております。農業のところはその辺で。

それと安全・安心。先般も、ちょうどヘルスメイトの会議がございまして、昨日、一昨日と続けてあったんですけども、そんな中で、ヘルスメイトをもう少し養成していただいたらと思うんです。というのは、非常に出る幕が多くなって、出だしたら、毎日のように出なきゃいかんのですよ、いえね。小学校、幼稚園、保育所、それから老人のいきいきサロンだとか、もういろんな所、男性のお料理教室が最近すごく流行りまして、もう男女60歳、定年過ぎたみなさんね、お二人で生活なさるから、やはり男性も一人になった時に困るから、ということで、3つのグループが出来まして、そこは毎月なさるんですね、男性の方が。

だから、これは少しヘルスメイトの数が私どもの方は100人を超えていたのが、お年を召した方が脱退されまして、82～83人になっていると思うんです。そういうんで、やっぱり順次に養成をしていく必要があるんじゃないかと思うんです。

そして、いわゆる糖尿病の関係で、男性の料理教室には、一番に減塩してください、とても味が濃いんですね、ちょっと入らしていただいたら。お塩は、私の方で、ヘルスメイトの方で、加減して振らしていただきます。それ以外は使わないでください、ということで厳しくやっておるんですけども。非常に糖尿病が多い。またワースト1になった、ということで大変残念に思います。

できるだけ、私たちは、小さいときから食生活についてしっかりと教えていく必要があるんじゃないかと思えます。

学校現場の方にも出て行っておりますが、子供さんもやはりお野菜を食べる子が、全部頂けるとい子とかは少ないですね。全部食べられるという子は、2～3割しかいないですね。やはり、選り取り見取りという食べ方をしております。

それと、最近、子育てなさっているお母さん方が、小さい赤ちゃんですね、いわゆる乳幼児を育てている方が、非常に、ベビーフードを使ってしまって、その離乳食を作る。離乳食の怖さっていうんですかね、そういうんで、非常に困っている。お出汁の取り方が分からない。今の22～25歳の若いお母さん方は。お出汁の取り方がわからないんです。あなた、お母さんやおばあちゃん（出汁を）取ってるんでしょって言ったら、やはり自分だけの生活ですから、分からないんですね。そういうのも指導しましょうということで。また子育て支援の日にも、ヘルスメイトさんが活躍せないかなというような時代が来ております。

やはり小さいときから、赤ちゃんの時に、徳島県であれば非常にお味噌がおいしい地域ですので、お味噌汁で、お野菜で、お味噌汁を薄く々々していけば、離乳食というのは、そんなにベビーフードばかり考えなくてもいいんじゃないかと。私が子育てした時代は、そういう時代だったから、それで十分いけるんじゃないかと思えますけど。そんな状況になっております。

（議長）

具体的な提案をいただきましてありがとうございます。時間の関係もありますので先に進めさせていただきます。

（委員）

祖谷から来ました と申します。

にし阿波観光圏というのができまして、徳島県では、観光といったら「にし阿波」という名前が売れていて、非常に嬉しいということと、まず、7月22日の朝日新聞に、「日本の吊り橋」というのを御覧になられた方がいるかわかりませんが、日本一に選ばれたのが、祖谷のかずら橋が吊り橋で日本一。私は、日本一といえば、たぶん、あの大分の長い橋かな、と思ってましたが、選んだのは、祖谷のかずら橋だった、というのから見ると、やっぱりにし阿波にも日本一というのができた。それが一般の人、六千人の人が選んだ日本一だったんで、うれしく思っております。

ミシュランの二つ星にしても三好市の方、にし阿波が選ばれた。北山たけしさんが歌ってくれた歌も剣山、にし阿波です。本当に、にし阿波は、今、注目されているので、県の県民局の局長以下ですね、にし阿波をもっともっと全国に宣伝していただきたい。そのことだけをお願いしたいと思います。ありがとうございます。

(議長)

ありがとうございました。

(委員)

東みよし町の商工会から来ております、でございます。

今年度の事業計画にも載せていただいとるようにですね、今年度、東みよし町商工会の方で、定額給付金に伴いまして、「サンサンくじ」というのを行いました。

町の川原町長さんにも御支援をいただきまして、独自の何かをしようということで、五百万円余りの予算で町内企業さん百軒くらい協賛していただきまして、成果といえますか、思った以上に、町の事業主さんが何かしたいんだなというのが、何か実感してきました。

それまで動きの無かったところが、やっぱり参加したいということもありまして、そういった中で、この間、商工会の方で、商業部の部会を持ちまして、そういった中で、中小企業庁の方からの地域商店街活性化事業費補助金という補助金があったのですが、ただ、商工会に来たのが7月20日くらいで、募集期間が7月13日から31日ということで本当にこういった本当においしい話といえますか、本当にこういった情報を本当に早く頂ければ、これに合うような事業ができるかどうかというのは、本当に大変だと思うんですけども、まずやっぱりやる気あるところで本当こういったことで事業が拡大できれば本当に町が活性するかなと思いますので、また、こういった情報があればもっと早くスムーズにして頂ければと思います。

あと、7月15日に、私、県の方で企業誘致講演会の方に参加させていただきまして、その中で、町の特色というか、地域のこういうのアピールできるよと、プラス何かと答えといえますか、企業さんが求めていることにスムーズに答えられるようになっていうことをお聞きしまして、西の方としましては、四国のへそ、本当に四国の中心街であるということで、本当にそれを利用した、例えば貸倉庫ですとか、そういった企業の融資の話ですとか、また、それにはまた、道路の整備、またいろいろ調査を含めて色々お願いしなきゃならないこともあるんですけども、次の時代の二代目三代目の人が跡を継がないで、やっぱり田舎に帰ってこないという、そのまま事業が終わってしまうということもありますので、そういった本当に帰ってきて働ける場所を確保という意味でも、そういった問題ありますので、そのへんの方よろしく願いいたします。

あと、あのもう、時間が無いので大変申し訳けないんですけども、私、東みよし町の古川という所で、大楠のある所でございます。8月2日に大楠まつりといった夏まつりを5時からやっておりますので、本当に地元の子どものためにやっている夏まつりです。ほのぼのとした夏まつりなので、是非よろしければ来ていただければと思います。

(議長)

ありがとうございました。委員さんよろしく願いします。

( 委員 )

失礼いたします。あのもう時間がせまっておりますので、皆さんいろいろたくさんの御意見が出られたようですけど、一つだけちょっとお願いしたらと思います。

振込め詐欺とかやっぱり依然多いようなので、小さい時から消費者教育というものを、もう少し、多く取り入れて欲しいなと思います。

協会が県下にありますけども、出てきてくださる方はいろいろ理解していただいて時間はかからないんですが、全然動けない人、そこへ電話がかかってきたりしたら、すぐに乗っちゃうんですね。私たちも高齢者の所をまわっているいろいろしておりますが、一人の人が、次々、詐欺にかかってしまって大変なようなので、子供の頃からリサイクルも始めて3R(の教育)も取り入れて欲しいなと思っております。

それから先ほどからいろいろ御意見の中で、各地に観光資源がいっぱいあるので、ふるさと観光というか、地域をみんなで廻ってみるといような情報をいただいて、それで他所へばっかり行かんと、県下をずっと廻るといようなのができたらいいかなと思うので、さっきね、2日ですか大楠まつりがあるといような情報が、県下のがいろいろ分かったら欲しいなと思っております。

それと福祉の教育と一緒に併せてお願いしたらと思います。というのはやっぱり人手が少ないといような、息子が福祉関係の方にいてるんですが、やっぱり手が足りんとか何とかいって、安い、汚いとか、何とかで来る人が少ないとか言ってますので、やっぱり小さい頃からのしつけといような、そんなんで、就職は県内をつくといようなのが身に付いていたらまた違うのでないかなと思いますのでよろしく申し上げます。

( 議長 )

ありがとうございました。

それでは、東みよし町長さんから5分ぐらいで。

( 東みよし町長 )

はい、もう1分でお話しいたします。

( 議長 )

まだちょっと時間が(ありますので)、申し訳ございません。

( 東みよし町長 )

今、農業なり林業なり観光なり、またボランティア関係といことでお話をされましたけれども、私は工業とい意味で、特に建設業といことでちょっとお話ししたいのですけども。

ちょっと過熱気味なところもあるんですが、こうやって建設業に関連する人たち、また事業といのは、やはり雇用の場を支えてきたといところもありますでしょうし、地域の経済を大きく支えてきたといところもあるうかとい風に思います。

まあ、これがやはり今の構造改革の時代になってだんだんと減ってきて、さらには、また、いろんな問題から公共事業は悪だといようなお話の中で、もうほとんど3分の1、4分の1に事業が減っておる。で、今の状況が続くと、これから上流の建設会社といのは、もうみんな潰れるのではないかと。もう生きていけないだろう、とい風に思います。

考えてみると、例えば平成16年、17年のあの大きな災害の時に、土砂崩れのあったところを片付けたり、いろんなこう作業をするよな、そういうよなことをやっていただいたのが、全部建設業にある程度エリアを分けてお願いしたんです。

じゃあ今度、大きな地震なり台風があったときに、それを誰がするんだといよな大きな問題が出てこよなかと思えます。

さっき申し上げたよな、過熱気味なその業者の数といのはもういらんでしょけども、適切な業者の存在といのは、やっぱりいろんな意味で私は必要かとい風に思

います。

そのためには、やはり、公共事業だけではなく建設業と農林業、またそういったいろんな関係の中で生きていくっていう形ができたなら、町全体の維持・存続という意味でも、いろんな意味で大切なことでなかるかという風に思いますので、そういったものをもちょっとお考えいただいて、また、よろしくお願い申し上げたいと思います。以上です。

(議長)

ありがとうございました。  
それでは、つるぎ町長さん。

(つるぎ町長)

はい、もう予算が決まっている中で何をやるかということと思うんですね。

予算すらあれば全ての要望に花を咲かせられる。

しかしながら、現実はそのような甘いものでないですね。

私は知事さんを褒めるんでないけど、この知事で良かったなと、徳島県は。

確かに飯泉知事の下で働く職員さんはせこいとは、しんどいとは思うんですよ、これお世辞でないんですよ。

しかしながら、今、一生懸命やって、徳島県の市町村長、まあ小さな町の町長で良かったなと。

なぜならば、やはり、まずぶれんし、ダダもこねる知事でもないし、義理人情を重んじる方であるし、というところで、人間の原点はやっぱり義理人情を重んじて、日本がここまで豊かになってきたと。それは支え合う、かばい合う、励まし合うが原点であると。

そして建設業についても、我が町も約50社あります。都会や平野部の方は公共工事反対、反対。社会資本の整備率がうちの町は5割程度なんです。

そしてまだ、山間地域では100戸以上が緊急救急時に庭まで車は入れない状況で、どうぞ道路をつけてくれという要望がある。

私は、特に困った人、弱った人の味方になり、これからも知事さんとともに町のために働いていきたいと思っております。以上。

(議長)

ありがとうございました。  
それでは、三好市長さん。

(三好市長)

委員の皆さんからの、市に直接要望とかご意見とかをいただいたわけですが、それは別の機会にまた譲ることとしまして、私は2つのことでちょっと提言とかをしたいと思えます。

1つはですね、先ほど西さんからもお話がありましたように、材価がなかなか上がらない、消費が進まないというこの森林資源をですね、一つ、その過疎地とか山間地ですね、公共建築物の保存推進を思い切ってやろうじゃないかと。この運動をぜひやりたいなど。で、まず耐震化とかさまざまな規制もございますので、その規制を見直していく必要もありましようし、また導入するにあたりまして積極的に支援策も必要であります。

そういう意味で、四国の観光へ訪れる外国の人たちが、日本の文化に親しみですね、そして伝統的な技術を、また、ずっと後世に繋いでいったりですね。

そして地域の資源というものを最大限に活用できるという。そういう意味でですね、ぜひこれをやっていただきたいという風に思います。

もう1点は、今年は長雨で6月のような湯水の心配はなくなってまいりましたけれど

も、相変わらず水不足というのは大きな問題であります。

そこで、長く投資をしたさまざまなダムがですね、十分機能してないと。

1つには、治水の問題にしましてもですね、貯水量が少なくなっているわけですから、当然災害時に十分貯留したりですね、前もって貯めておくことができない。

それとまた、電力あたりは非常に能力が減退をしてくる。というように、たくさんの投資をした巨大建築物というか構造物が十分機能してこなくなっているという心配をしておりますので、河川法もいろいろありますが、ぜひ滞留している滞砂を除去してですね、本来のダム機能を維持していく、それに近づけていく。これは四国のまん中の私どものダムというものを最大限活用しなければいけないと思っています。

ぜひ、これは県が取り組んでいただかないと、我々一自治体ではとても手が及びませんので、ぜひともこういうことについてお取り組みいただけたらありがたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。

では、最後に美馬市長さん。

(美馬市長)

ちょうどトリになりましたが、私も一、二、若干の御提案をさせていただきたいと思っております。

まず、糖尿病対策。いろいろな医療面での県の取り組み、新しい緊急経済対策でもいろいろ取り組んでいただいておりますけど、美馬市は、全国1位の糖尿病死亡率の中のさらに県内2位だと。いうことで、糖尿病対策は、私、随分取り組んでいるんですけど、やはり、これから、一つは食、ひとつは身体を動かす、いうことで、やはり、いい施設とかそういうことがこれから必要になってくるとかそういうことでなくて、一つは糖尿病対策としての運動をする施設をですね、一般の県民が手軽に行って運動できるような施設を作る必要があるんじゃないかなというふうに思います。

もう一つは、地域スポーツ王国ということで、いろんなこれからスポーツ振興もやっていこう、いうことでございますので、県西部にも、そういう施設を計画的にご検討いただきたいな、という風に思っております。

それからもう一つは、特に、施設を作ったり、或いはいろんな事業をやるんですけど、最後の後始末がですね、廃棄物の問題が大変問題です。特に美馬市が一番困っているのは、阿波尾鶏のブロイラーの産地で、ここは大体900万羽から1千万羽飼ってますからね、そこで鶏糞が、コンポスト(美馬コンポスト)が何カ所かに作っておって、私も3セクで社長もしておりますけど、本当にその処理が、抜本的な対策がないということで大変困っている訳です。

これは美馬市だけではなくて、他の地域でも一緒だろうと思います。それと鶏糞だけではなくて、いろんな廃棄物の最終処分についてですね、一度、本来市町村や排出者の責任というものは充分理解してるんですけどね、そういう中で、きちっと対処していかないと環境を守れない、できないということで、不法投棄も一般に起こってくるということもあり得ますので、抜本的にやるために、一つは、県もなかなか取り組みにくい、ということもよく分かっていますので、企業局なり何なりで抜本的できる手法を、そう簡単にいかんと思っておりますけど、今後の検討課題として御検討いただけたら非常に有難いなと考えています。以上2点です。

(議長)

どうもありがとうございました。

ちょっと不手際で、急ぎ足で申し訳ありませんでした。

では、総括で知事の方からお願いいたします。

(知事)

予定した時間よりも早く(進みましたね)。

それでは、皆さんからいただいたいろいろなご提案、もちろん市長さん町長さんと一緒に取り組まなければならない課題も多くご指摘いただきましたので、その点についてはまた4人の市長さん町長さんと相談をさせていただいて、極力、進める方向でいろいろ検討していきたいと思えます。

まず、ご提案、あるいは、ご意見として、すぐにも対応できそうなものについて、いくつかお話しをしたいと思います。

まずは、さんの方からいただきましたイベントの案内板ですね。

実は、この辺はさんの方から言われて、1つ、もう少し、各施設の、ということで、あそこのところに施設の案内板を作らせていただいております。

確かにおっしゃるように、イベントの案内板がないというのは1つあるんですね。

で、県内にはもっともっとそうした、しかも差し替えがきくような形で、あるいはLEDの掲示板にするかですね、いろいろな形があるんですが、そうした点については当然今、高速道路が1,000円、しかも7月の18日からフェリーも今1,000円にして、これは平日もあるんですね。

しかも、徳島からお金を出していますので、これは県内に宿泊をすると。もちろん徳島ナンバーと和歌山ナンバーは1,000円なんですけどね。

他県のナンバーは、徳島県あるいは和歌山県に宿泊をしなければいけない、ということがありますので、いろいろなイベントで、あるいはその宿泊施設の案内とかですね、これは宿泊のパンフの話がまた出たわけですし、官だけでないかと、民も。

実は、南の方でもこれをやろうということで、これは、逆にどんどん官民あわせたものを民宿を含めてですね。そうしたものを(インター)ネットで、あるいは紙媒体で出していかなければ、せっかく宿泊したいけど、どこに宿泊したらいいかわからんやないかということになりますので。

これは、今、貴重なご提案をいただきましたので、これは市長さんたちともご相談させていただいて、積極的に(インター)ネットでも流していければと、このように考えております。

それからあの、インターチェンジの絡みの話ですね。

あれ、どうしても繋がっているところが優先になるものですから。今回も実はグルグルと回して、そうすると1,000円と。例えば藍住の方へ、板野から藍住へ持ってきた後ですね、あそこで切れて、また新しい料金が発生するんですね。まあ、そういう形で、ああいうカーナビを組んでおりますので、我々としては、板野と藍住の間は切れてはいるんですが、実際はカーナビでは繋がっているという形にしてくれということ、今、要望しております、本当は夏休み前までに何とかということだったんですが、ちょっとなかなか国の財源も苦しいところがありまして、そこで今、目指しているのはせめて夏が終わって9月のあたりでどうだろうか。

これはシステム変更ということで、少しかかるものですから。まあ、似たような地域と連動する形で、今、要望、これはかなり続けておりますので。

また、そうしたものが上手くいきましたときは、マスコミの皆さんなども通じてPRをさせていただきたいと思えます。

それからあと、子育ての関係で、さんをはじめとして多くの委員さんからいただきました。

確かに、今年はちょうど、「はぐくみプラン」の後期計画策定の年を法律で義務づけられておりまして、今日もいただきましたいろいろな、もちろん待機児童の話もありますし、あるいはその地域の人たちとの、いわゆる地域の子育て力ということで、こちら

は、高齢者の皆さん、まあでも、元気な方がたくさんおいでになりますので、こうしたみなさんの子育て力も大いに、まあ使うと言ったら怒られるんですけどね、協力をいただこうと。これが実はファミリーサポートセンターの制度であります。

これは子育てのプロのそうした、子育てを終わられた皆さんと、どうしても預かって欲しいなという皆さんとのニーズを合わせようという場、ということで実は県西部はようやく今、美馬市のところまでまいりまして、今後、出来れば三好市さんにこれを着手していただくと。それぞれの2つの町の皆さん、そこそこ組むという形で進めていければなど。

県西部、あと、県南部は阿南まで来ておりまして、こういうファミリーサポートセンターを全県に展開をすることによって、例えば病児保育の問題もこれ、今、緊急サポートということで、全県一区でやっているんですが、これが制度が切り替わってしまってますね。あと、2年間だけ延長措置になっているんですが、これもその後はファミリーサポートセンターに移管をしていくということですけど。

じゃあ、ファミリーサポートセンターのないところはどうなるんだということになりますので、ここは市長さん町長さん達ともよくご相談をさせていただき、また、これを運営していただいている、これは労働団体の関係なんですけどね、こうした皆さんともとにかく協力をして、全県下で子育てのしやすい環境、これもしていきたいと。

もう1つは、これはもう既に報道はされているわけではありますが、9月の補正予算に今日の市長さん町長さんともご協力をいただく中で、乳幼児の医療費の助成制度、これは歯科と医科と両方対象になるわけではありますが、今、徳島県は7歳未満、これが県全体の制度ということで、最低が通院・入院7歳未満ということになっています。

しかし、県西部でもこれを超えているところが既にもうありますので、実はこれを今小学校3年生まで、ということで、いわゆる低学年の皆さんまでは、乳幼児医療費の助成制度、これを適用していこうではないかと、これを9月の補正予算に計上していきたいと。もちろん、これは県と市町村が折半ということになりますので、今日、お越しの市長さん町長さんにもさらにご協力をいただく、ということになるわけではありますが、こうなりますと、今、全国で中卒、中学までというのが東京都、で、もう間もなく、群馬県がここに入ってくるんですね。次が、今、いう小学校3年、つまり低学年までというのがお隣の兵庫県と栃木県、そして7歳未満というのが徳島。あと、それ以下がいわゆる就学時未満ということになってるんですね。

今では全国第4位なんですけど、このまま放っておくと第5位になってしまう。しかし、市町村長さんのご協力をいただいて、また、県議会のご理解をいただいて3年生までにしますと、全国3位タイということになってまいりますので、こうした点もこれからできる限り行っていきたいなど。

ちょうどこの財源についても、国からの経済危機対策の交付金を、今年度は、県も市町村も使うことができますので、まあそうした形で。しかし、次年度については、これはそれぞれが自腹を切っていかなければならないということがあるわけありますので、これはまあ、次年度も当然この経済が厳しい状況ですから、しっかりと子育て世代の皆さんの支援を行っていければなど、このように考えておりますのでよろしく願いをいたしたいと思えます。

また、委員の方から安全・安心。この点につきましては、これも、その後皆さんからいただきました。

確かに高速道路、橋が1,000円になって大勢の皆さんが来られるということで、車上荒らしなども出ると。

今、県ではこの安全・安心をしっかりとということで、体感治安の向上プロジェクト、これを県警あるいは県民環境部または県西部・南部そして市町村の皆さんとともに進めております。

そこで、これは機械でもって、まずは何とか対応していこうということで、自動ナンバー読み取りシステムという、まあこれは、割と国からの補助事業だけでやってきたん

ですが、徳島では、やはりこれを上手く使う、まあ、四国の玄関口でもありますので、県単独でのNシステムを入れさせていただいて、県警の方でも機動的にこれを対応できるようにまっすぐ行っているところでもあります。

しかし、これだけでは、やはり、日頃、地域で、「あ、ちゃんと気をつけているんだな」というものを、不届きな人たちに気がついていただくということで、実は青色の回転灯のパトロールカーというのがね、各地域の防犯組織が立ち上がってきていただいております、こうした皆さんとそれから県警、また、我々行政が、一体となって、この体感（治安）向上プロジェクト、これをしっかりと今取り組みさせていただいておりますので、この点についても地域の防犯組織ということで、ボランティアになってきてまいりますので、こうした点、皆さんに「ボランティアとはこういうものだよ」というお話しもいただきましたので、ぜひとも、ご協力方よろしく願いをいたしたいと思えます。

また、さんの方から文化のお話しをいただきました。

浄瑠璃を今年は実は「浄瑠璃の年」とさせていただいております。

昨日もNHKの教育の方で、文楽を全国発信をしておりますですけどね。やはり、阿波人形浄瑠璃は、この文楽よりも、3人遣いの人形ですからダイナミック、また農村舞台、ということで屋外でやる。

これは、薪能をはじめとして幽玄の世界を誘う、ということで今年は浄瑠璃年間。

特に10月の3日から11月の3日までを浄瑠璃100公演、徳島の、それぞれの農村舞台、浄瑠璃を演じていただいている皆さんはもとより、先ほど（吉田）勘緑さんの話もありましたし、また（吉田）文司さんという、文楽の世界でとても活躍されている徳島出身の方もおられますので、こうした皆さんのご協力もいただく中で、そして全国の浄瑠璃の皆さんを徳島に会そう、さらに浄瑠璃を越えて人形を遣う人たちもということで「人形フェスティバル」という、いわゆるサミットも行おうと、このように考えておりますので、ぜひこの機会に、我々も今どんどん（インター）ネットあるいはパンフレットで、この高速道路1,000円とフェリー1,000円の関係で、PRを全国にさせていただいております。

特に、近畿の諸県に対してはうちの「OUR徳島」という全戸配布の広報紙があるんですが、これを紙面交換ということでね。すでに兵庫県とは行っておりますし、これから大阪・奈良・和歌山からもお話があり、兵庫県からもう一遍やってくれと。そうなりますと、これら徳島よりも全部人口が多いところですからね。そこに全部各戸配布で入って、「徳島では高速道路1,000円でこんなことやってるんだ」というPRもしていきたいと、こう考えておりますので、いろいろ県西部の情報もこうした中に入れ込みさせていただきたいと、こう考えておりますから、よろしくまた情報発信方お願いをいたしたいと思えます。

そうした形で、今回、西でのいろいろな観光のPRについても、さらに加速をさせていきたいと、このように考えております。

そして、後は市長さん町長さんからいただきました点についてであります。

まず、川原町長さんの方から、建設業者の皆さんの今後のあり方についていただきました。

確かに今、なかなか過当競争で厳しいという中で、県としても農業・林業、まあこちらに進出をどうであろうかという形でさせていただいております。まあ、ただこうなりますと、もともとは農業・林業で食えないから建設業に来たのではないかと、こうした意見が多く出されているところでもあります。

また、いざ発災となったときに一番助けていただくのは地域の建設業の皆さんですし、今、県内の雇用を守っていただいている、その多くのところも担っていただいているのも事実であります。

そこで、昨年からの国からの緊急保証制度、ここも一番お借りをいただいたのが実は

建設業界という形になっておりました。

県としても資金面、それからあと事業、さらには、今、後の将来の展開という形で、この建設業のあり方について、それぞれの業界の皆さんとも相談をさせていただいて、しっかりと支えられるところは支えていこうという形で進めさせていただきたいと。

ただ、ここは市長さん町長さんとも同じ実は側でもありますので、ここもまたご協力方よろしく願いをいたしたいと思います。

また、俵市長さんの方からは、木をもっと使ったらどうだろうかとお話しをいただきまして、まさに今、お遍路さんが、どんどん全国からおいでになる。そこを無機質の鉄製のガードレールを手で擦っていくのは気の毒じゃないかということで、今、木製のガードレールをどんどん県内に広げていこうと、まさに「木づかいの文化」、木の文化。これでこそ徳島、そして四国 8 8 箇所ということで、四国の他の県にもそうしたお話しをさせていただいております。

また、耐震化で今公共施設、特に公立の小中学校の工事がどんどん進んでいるところでありますが、こうしたところでもどんどんこの県産材を使っていただこうと。

また、ここから飛躍をして、県の公共事業でも極力、今、仕様書の中にも「県産材を使うこと」というものを入れさせていただいております。

まだまだ足りない部分もあるわけですが、あらゆる場で、例えば、先ほど、サインシステムで さんの方からもお話しをいただいた、ああした看板、これも前、

さんから言われて作ったのは鉄製でないかと、「あれ、木にしたらどうだ」という話もいただいたりしたもんですから、そうした、特に、県西部のサインシステム、看板については、できれば県西部からの木材を使おうと。こうした点もこれから考えていきたいし、即実行に移せるものは移していこうと、このように考えておりますので、こうした点のご協力もまたよろしくをお願いいたしたいと思います。

また、水不足。おっしゃるとおりだと思います。

これからはやはり、造るダムから今あるダムをいかに活用するのか。その点、実はあそこに溜まっている砂利っていうのは、多くの資源なんですよ。まあ、こうした点を今後どう対応していくのか。

特に全国の1つのモデル例となるのが県南部地域であります。実は長安口ダム。これは県管理のダムを、逆に、上投げという形で国直轄のダムに、しかも、坂州木頭川の押立ダムをはじめとする他のダムとの統合運用ということも、今、打ち出しをさせていただいておりますので、国土交通省においてもこの長安口、いわゆる那賀川水系というのが1つのモデルだと。昨日も河川局長とも会ってきたわけですが、こうしたお話もありますので、これを、今度は、早明浦、これは四国の水がめとなっておりますので、こうした点については、四国の他の県、また四国地方整備局とも前向きに相談をさせていただいて、今後、今ある資源を、大いに使っていこうという形で進めていければと。

この点につきましては、逆に市長さん町長さんのご協力が不可欠となりますので、よろしくこの点も願いをいたしたいと思います。

そして最後に、牧田市長さんからも2ついただきました。

まず、この糖尿病対策ということで、特に運動不足解消すべきではないかと。

まあ、その発案で、実は「とくしまマラソン」。これはもういよいよ2年締め、来年度、2010年は4月の25日。そして今回は6,000人にこれを広げさせていただいております。

こうした形でとにかく運動する習慣をもっともってつけていこうと。

1つは実はウォーキングをですね、今、全県下でウォーキングのコースをつくっていただこうと。ウォーキング協会とも協力をさせていただく中で、そうしたイベントをつ

くると同時に距離表示がある、あるいは、あまり治安的に悪くない場所に、そうしたウォーキングコースをつくっていただくと。

これも県南部で既に着手をしていただいている部分もありますので、ぜひ、県西部こそいい場所が多々あると思いますので、こうした点も、地元のご協力をいただいて、県としても、さらに推進をしていければと考えております。

また、廃棄物の関係について。

これは逆に逆転の発想で、企業局として入念に取り組んだらどうだろうかと、非常に前向きなご提言をいただきました。

我々としても、この廃棄物対策というのは非常に大きな課題にもなっておりますし、ゴミゼロと。でも、産業を行うにはゴミゼロとはなかなかいかない部分がありますので、今後、特に、第1次産業、本県の基幹産業でもありますので、しっかりとこの廃棄物対策といったものについても研究を進めていき、これを業として成り立つような形で対応がいかにかできるか、こうした点をしっかりとこれからも考えていきたいと思っておりますので、また知恵出しなども、元企業局長でございますので、よろしく願いをいたしたいと思っております。

以上、皆様方から貴重なご提言をいただきました。

これらについてできるものは速やかに、といたしますのも、高速道路の1,000円はもう2年を一応切っておりますし、フェリーも一応半年ということにしてありますので、もう成果が取れるうちはどんどん取って、この100年に1度の経済危機、何とか県西部、ここから脱することができるように頑張っていきたいと思っておりますので、委員の皆さま方にもご協力方よろしく願いをいたします。

(議長)

知事の方から総括いただきました。

本日、いただきました御意見につきまして、今、知事の方から御報告させていただきこと以外のもにつきまして、我々の方で充分咀嚼させていただきまして、今後、計画に反映させてまいりたいと思っております。

本日は、遠方、お忙しいところ、御出席いただきましてありがとうございました。会議は、これで終了させていただきます。